

第5学年 外国語活動学習指導案

2組 計27人 (男子12人, 女子15人)

指導者 川原園 達 司
東 郷 道 成

1 単 元 「Myspecial時間割を作ろう」 (英語ノート1 Lesson8「時間割を作ろう」)

2 単元について

(1) 単元の構想

本単元では、コミュニケーションの場面として、子どもの身近な暮らしに関わる場面を取り上げた活動を設定する。具体的には、学校での学習や活動における表現として時間割を作成し、曜日や教科に関する表現に慣れ親しませるようにする。また、中国やオーストラリアなど外国の学校ではどのような教科を学習しているのか知り、日本の学校とは教科数が違う、外国でも日本語が学習されているという文化の違いやおもしろさに気付くことができるようにする。さらに、自分だけのMyspecial時間割を作り、それをショー・アンド・テル形式で発表することで、自分の考えを話したり、友だちの発表を聞いたりすることができるようにするとともに、お互いの発表のよさ、考えのよさも知ることができるようにする。

子どもたちはこれまでに、外国でのあいさつの仕方や気持ちを表すための表現方法、身近な外来語などについて知り、英語を中心とした外国語の音声に慣れ親しんできている。また、数の数え方や自分を指し示したり、相手と呼んだりするときのジェスチャーの違いといった言語や文化の違いに気付いている。このような学習を通して、子どもたちの中には、もっといろいろな外国語を知りたい、外国の文化を知りたい、自分でも話してみたいというコミュニケーションへの意欲が高まっている子どももいる。

本単元における、オリジナルの物を作ったり、紹介したりする活動は、Lesson9「ランチ・メニューを作ろう」の学習へと発展する。

(2) 指導の基本的な立場

本単元の学習を進めるに当たって、英語ノートの効果的な活用や体験的な活動の進め方について次のことに留意して指導していきたい。

まず、英語ノートの効果的な活用として、取り扱う順序を入れ替える。具体的には、本単元を中心となる表現である曜日や教科の名前について子どもたちが十分に聞き、慣れ親しむことができるようにするために、英語ノートに示されている順ではなく、十分に聞いた上で音声に対するイメージを得る活動や取り扱う語彙を精選し、ゲーム等の中で子どもが自信をもって発話する活動から始めるなど、活動のねらいを明確にした上で指導したい。実際の活動においては、「自分と同じカードを持っている相手を探したい」「友達と同じカードがあった」というように、子どもが活動に対する必要感や達成感を味わわせる中でコミュニケーションの楽しさを体験させるようにしたい。また、単元末のグループで話し合っ、自分たちの時間割を作り、発表する活動においても子どもが単に発表することに終始するのではなく、「自分の時間割について友達に話したい」という意欲をもてるようにしたい。そのためには、全体で発表する前にグループ内で発表したり、クイズ形式にしたりして学習形態を工夫したい。

さらに、単元全体を通して電子黒板を中心としたICT機器を活用し、音声だけでなく画像を提示して子どもの言語や文化に関する気付きを促せるようにしたい。

このよう学習を通して、子どもが友達や教師と積極的にコミュニケーションを図る楽しさを実感し、次の学習への新たな意欲をもって取り組むことができるようにしたい。

(3) 子どもの実態（調査人数24人，数字は人数）

項目	回答		
外国語活動は好きですか。	好き(12) どちらかと言えば好き(11) あまり好きではない(1)		
好き・嫌いの理由は何ですか。 ※ 理由は複数回答	○好き・どちらかと言えば好き ・英語を使ってゲームをするのが好きだから(12) ・英語の歌が好きだから(9) ・いろいろなことを知ることができるから(5) ・電子黒板をさわられるから(5)	○あまり好きではない・嫌い ・英語の意味が分からない，うまく聞き取れないから(1)	
どんな活動が好きですか。 (複数回答あり)	○ゲーム(22) ○歌(11) ○友達と話す(8) ○外国のことにについて知る(7) ○ものづくり(7) ○電子黒板をさわる(5)		
人と話をすることが好きですか。(外国語を使って) ※ 理由は複数回答	好き(7) ・覚えた言葉を使うのが楽しいから(3) ・気持ちや好きな物を紹介し合えるから(2) ・ふだんは使わない言葉を使えるから(2) ・友達と話すのは楽しいから(1)	どちらかと言えば好き(11) ・発音が難しいときがあるから(4) ・話せない時もあるけれど，話せるようになるとうれしいから(3) ・ゲームは楽しいけれど，自信がないときもあるから(3) ・先生の話聞き逃すことがあるから(2)	あまり好きではない(6) ・言葉を覚えきれないことがあるから(3) ・いきなり話をしようとしても，うまくできないから(2) ・ゲームのルールが分からなくて迷うことがあるから(2)
人と話をすることが好きですか。(外国語活動以外) ※ 理由は複数回答	好き(14) ・話をすると，仲良くなれるから(10) ・外国語よりも簡単だから(9) ・自分の考えが正しいかどうか分かるから(4)	どちらかと言えば好き(5) ・話題が見つからないときがあるから(2) ・自分の考えを聞いてもらえないときがあるから(2) ・まちがっていたらどうしようと思うから(2)	あまり好きではない(5) ・緊張するから(4) ・自分が話をしても，周りがあまり楽しくなさそうだから(1)
外国語活動で困ることや難しいと思うことはどんなことですか。 ※ 複数回答	○うまく話ができなくて友達や先生に伝わらないことがある ○みんなの前で話をするのが恥ずかしい ○AEAの先生の言っていることが分からないことがある		
自分で時間割を作るとしたら，どんな教科や活動があるといいと思いますか。	○映画鑑賞 ○ゲーム ○みんなで大きな物を一緒に作る ○釣り ○実験・自然観察 ○昼寝 ○海水浴 ○雪合戦 ○お菓子を作る・料理をする		

本学級の子どもたちのほとんどが外国語活動を好意的にとらえていることが分かる。その理由としてゲームの楽しさを挙げる子どもが多く，体験的な活動を通して英語を聞いたり，話したりすることへの意欲が高まっている様子がうかがえる。また，いろいろなことを知ることができるからという理由を挙げている子どももいる。詳しく聞いてみたところ，あいさつやジェスチャーの違い，生活の様子など，外国の文化への興味が高いことが分かった。一方で，外国語活動をあまり好きではないと答えた子どもは，外国語の発音がうまく聞き取れず，ゲームを十分に楽しむことができないことを理由として挙げている。これは，子どもたちが外国語活動で困ることや難しいと思うことと同様である。このことから子どもが外国語を楽しいと感じ，意欲をもって取り組むためには，まず，十分に聞いて慣れ親しむことが必要であると言える。「外国語を使って人と話をすることが好きですか」という問いに対しては7割以上の子どもが「好き」・「どちらかと言えば好き」と答えている。その理由としては，覚えた言葉を使うのが楽しい，ふだんは使わない言葉を使えるのが楽しいなど外国語活動でしか味わえないコミュニケーションの楽しさを挙げている子どもが多い。しかし，うまく発音できない，聞き取れないといった不安から意欲をもてず，消極的になっている子どもがいることも分かった。自分で時間割を作るとしたら，どのような教科や活動が考えられるか問うたところ，ゲームや釣り，昼寝，料理など子どもらしい発想が多く見られた。

これらの実態を踏まえ，本単元では，子どもが外国語を十分に聞いて，慣れ親しめるように体験的な活動の配列を工夫したり，体験的な活動の内容を工夫したりする。その中で教師が子どもを賞賛したり，一緒に活動を楽しんだりして，コミュニケーション活動を活性化できるようにする。

3 目 標

- (1) Myspecial時間割を作り、その内容を積極的に伝え合おうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 時間割を作ったり、紹介したりする活動を通して、教科名や曜日などの言い方に慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- (3) 日本と外国の小学校で学習する教科の違いや共通点に気付き、外国の小学校の学校生活に興味をもつ。
(言語や文化に関する気付き)

4 指導計画 (全4時間)

 学習課題
 子どもの活動
 子どもの意識
 評価項目及び評価方法

過程	学 習 活 動	教師の具体的な働きかけ
意識をもつ (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 教科の言い方や曜日の名前を知ろう。(本時) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ "Sunday,Monday,Tuesday" を歌う。 ・ 教科名を英語で言ってみる。 ・ ビンゴゲームをする。 ・ メイク・ペアーズゲームをする。 <p>※ 英語ノート P52・53</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日の言い方は聞いたことがあるぞ。 ・ 教科の名前は難しそうだけど、言ってみよう。 ・ 体育はP.E.と言うんだね。 ・ 同じカードを持っている友達をさがすぞ。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌を歌うことで曜日の言い方に慣れ親しませる。 ○ まず、教師が作ったカードを使うことで、相手を見つけやすくする。 ○ 英語ノートのカードを活用し、オリジナルのビンゴを作れるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 歌やクイズ、ゲームを通して曜日の言い方や教科の名前の表現に慣れ親しんでいたか。 【外国語への慣れ親しみ：行動観察・振り返りシート】 </div>
つかむ (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 外国の時間割を知ろう。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ "Sunday,Monday,Tuesday" を歌う。 ・ 電子黒板の音声や画像をヒントにどこの国の時間割か考える。 ・ 外国の教科書当てクイズをする。 ・ ジェスチャークイズをする。 <p>※ 英語ノート P50・51</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日の言い方にも慣れてきたぞ。 ・ 国によって教科が違うんだね。 ・ 外国でも日本語を学習するところがあるんだね。 ・ ○○さんのジェスチャーが分かりやすいね。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板で音声と画像を同時に提示し、国旗をヒントに外国の時間割を考えることができるようにする。 ○ 教科書の絵を提示しながら、日本と外国の教科の共通点や違いに気付かせるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 外国の時間割に興味をもち、日本との共通点や違いに気付いていたか。 【言語や文化に関する気付き：行動観察・振り返りシート】 </div>
楽しむ (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> My special時間割を作ろう。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツをする。 ・ 「先生当てクイズ」をする。 ・ My special時間割を作る。 <p>※ 英語ノート P54</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会や理科の言い方が難しいなあ。 ・ どんな教科を入れようかな。 ・ 僕だけのMy Special時間割ができたぞ。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板上でクイズの答えを子どもに発表させ、共通の場で確かめができるようにする ○ オリジナルの教科を1コマ入れられるようにし、時間割作りに意欲をもてるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 意欲をもってMy special時間割を作っていたか。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度行動観察・英語ノート】 </div>
振り返る (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> My special時間割を発表しよう。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツをする。 ・ グループ内でMy special時間割を発表する ・ ショー・アンド・テル形式で「時間割当てクイズ」をする。 ・ 本単元の活動を振り返る。 <p>※ 英語ノート P55</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ だれがどんな時間割を作っているのかな。 ・ ○○さんの時間割はおもしろいね。 ・ 曜日をヒントに、しっかり聞いて当てるぞ。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に作った時間割をグループ内で紹介させ、自信をもって発表できるようにする。 ○ 友達の発表のよさや考えのよさを伝え合い、単元全体の学習の成果を感じられるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> グループで作成した時間割を発表することで友達とコミュニケーションを図る楽しさを味わっていたか。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度行動観察・振り返りシート】 </div>

5 本 時 (1/4)

(1) 目 標

歌を歌ったり、ゲームを楽しんだりすることを通して、曜日の言い方や教科の名前などの外国語の音声や表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】

(2) 展 開

☆はICT機器活用上の留意点

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ	準 備
意 欲 を も つ ・ つ か む	1 始めのあいさつをする。	(分) ↑ 8 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元気よくあいさつし、これから学習しようという雰囲気を作る。 ○ 気持ちを表現する語彙やジェスチャーを使ったり、表情豊かに話したりしている子どもを賞賛し、意欲付けを図る。 ○ T1が主に授業を進め、T2は特別な支援が必要な子どもへの働き掛けを行うようにする。 ☆ 電子黒板で学級の時間割を提示し、身近なもので曜日とかかわりが深い物を想起することができるようにする。 ○ 本時は、曜日や教科の名前に関する表現を学習するというところをつかませるようにする。 	CD 電子黒板 デジタル教材
	2 Let's Sing "Sunday,Monday,Tuesday" を歌う。 3 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">教科の名前を英語で聞いたり、言ったりしよう。</div>			
楽 し む	4 Let's Listen (英語ノート P53) (1) CDを聞いて、英語の教科名を知る。 (2) 英語での教科名を声に出して言ってみる。 (3) チャンツをする。	30 ↑ ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板の画像を見たり、音声を聞いたりして、どの教科を表す英語なのか予想するように助言する。 ☆ 電子黒板で教科書の絵と音声を同時に提示することで教科名を表す英語を聞き取りやすくする。 ○ チャンツの速さに変化を持たせたり、順番を変えたりして、楽しみながら声に出せるようにする。 ☆ 子どもが電子黒板上で実際に教科名のカードを動かすことで意欲を喚起するとともに、共通の場で確かめができるようにする。 ○ 教師が準備したカードを配り、同じカードを持っている友達を探すようにする。 ○ 教科名を言えないときは、自由に教師に聞いてよいことを伝え、安心感を与えるようにする。 	CD 電子黒板 電子黒板 ゲーム用カード
	5 Let's Play (英語ノート P52) (1) 教科名ビンゴシートを作る。 (2) 教科名ビンゴゲームをする。 (3) 教科名や曜日名が書いてあるカードを使って「メイク・ペアーズ・ゲーム」をする。			
振 り 返 る	6 本時の学習を振り返る。 (1) 振り返りシートに記入する。 (2) シートに記入したことを発表する。 7 Let's Sing 英語の歌を元気よく歌う。 8 終わりのあいさつをする。	7 ↑ ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども同士で感想を交流させ、お互いのよさを認め合えるようにする。 ○ 本時で扱った語彙や表現を取り入れた歌(替え歌)を歌うことで、本時の学習の達成感を味わうことができるようにする。 ○ 子ども一人一人の活動の成果を称賛し、次時への意欲付けを図る。 	CD 振り返りシート

(3) 評 価

歌を歌ったり、ゲームを楽しんだりすることを通して、曜日の言い方や教科の名前などの外国語の音声や表現に慣れ親しんだか。 【外国語への慣れ親しみ】